

NAKAMOZU イノベーションコア 創出コンソーシアム レポート

2022年9月
第6号

NAKAMOZU イノベーションコア創出コンソーシアム
(NICCC) 事務局

主なコンテンツ

1. NICCC 土地活用意見交換会とは
2. 本意見交換会の概要
3. 当日の様子
4. 意見交換会でのご意見

NAKAMOZU イノベーションコア 創出コンソーシアム 会員

- ・公立大学法人大阪 大阪公立大学
- ・堺商工会議所
- ・公益財団法人堺市産業振興センター
- ・株式会社さかい新事業創造センター
- ・株式会社池田泉州銀行
- ・株式会社エスポワール
- ・大阪ガス株式会社
- ・大阪市高速電気軌道株式会社
- ・大阪信用金庫
- ・関西電力株式会社
- ・株式会社スマートバリュー
- ・大和ハウス工業株式会社 堺支社
- ・大和リース株式会社
- ・西日本電信電話株式会社 関西支店
- ・株式会社ガバメイツ
- ・堺市

支援・協力機関

- ・株式会社日本政策金融公庫

令和4年9月16日に

NICCC 土地活用意見交換会 を開催しました！

1. NICCC 土地活用意見交換会とは

- ・本年度 NICCC では、令和4年6月に作成した「なかもずイノベーション創出拠点の形成に向けたロードマップ」の将来像実現に向け、なかもず駅周辺エリア、特に北部エリアの土地活用の方向性について取りまとめを行っていく予定です。
- ・NICCC 土地活用意見交換会は、なかもずエリア全体の将来像等を共有しつつ、各エリアの役割、必要機能、実現に向けての課題やその解決方法等について、会員の皆様のご意見や知見をいただきながら、主に北部エリアの土地活用案の検討・整理を行うことを目的に、本年度は3回の開催を予定しています。

2. 本意見交換会の概要

日時：令和4年9月16日（金）13時30分～15時30分
場所：堺商工会議所 2階大会議室

<議 事>

1. 開会挨拶
2. 本年度のスケジュール報告
 - ・意見交換会の目的やアウトプットイメージ
 - ・ロードマップ（6月版）の説明
3. 意見交換・総括
 - ①土地活用における条件整理・現状報告
 - ②なかもずエリアに必要な機能について
4. 見学先の選定
5. NICCC における情報発信について
6. 閉会

NAKAMOZU イノベーションコア 創出コンソーシアム

3. 当日の様子

- 本意見交換会では、まず事務局から土地活用検討における検討内容及び進め方等の説明や、北部エリアの検討を行うにあたっての土地活用における条件整理・現状報告がありました。また、本会議に先駆け実施した事前アンケートの結果についての報告を行いました。
- 事前アンケートについては、会員等の皆様からいただいたご意見を集約することで、なかもずの各エリアに必要な機能を再確認するとともに、共有することができました。
- 見学先の選定については、東京都大田区の「羽田イノベーションシティ」と川崎市の「キングスカイフロント」の2候補地まで絞り込みました。

4. 意見交換会でのご意見

○アンケート結果では、以下の回答が多くありました。

- 北部エリアは、スタートアップ・オフィス系の機能と、様々な交流が生まれるような機能が必要。
- 駅、駅と北部エリア間、駅と大阪公立大学エリア間は、賑わいや憩い、居住に関する機能が必要。また大阪公立大学エリアは、研究・開発・交流に関する機能が必要。

○当日の意見交換会では、座長・専門理事・会員から以下のご意見を頂きました。一部紹介します。

- 実際に事業を行うには、既存施設を含め現状の稼働率やニーズを把握したうえで、なにが不足しているかなど、調査していく必要があるのではないか。
- 打合せや待合せができるサードプレイスのような気軽に利用でき、居心地のいい場所が不足しているように思う。
- 大学と連携したスタートアップ事業においても、アーリー期には大学構内すこし大きくなったらS-Cube、きちんと立ち上がったなら金岡周辺に工場を作るなど、役割分担が必要と考えている。
- 憩いの場について、駅前広場エリアだけではなく大阪公立大学エリアや北部エリアの中間にそのような場所があり、南北両方のアクセスが便利になればより賑わいが増すのではないかと。
- なかもず駅周辺には緑がないわけではないが、もう少し緑をつなげていけると知的生産の場にも、交流の場にもなり、機能をつなげていくと日常の憩いの場になるのかと思う。
- 単体の機能を置いたからと言って、まちが活性化するわけではない。最近「20minutes neighborhood (20分圏内のまち)」という言い方で、色んな機能をいかに混在させるかという、人にとって暮らしやすい、イノベティブ・クリエイティブな暮らしができるかが、問われている。
- なかもずエリア全体に業務・研究・開発といった機能に加えて、すべてに日常・憩いという機能が出ており、キーポイントではないか。
- コストセンターばかりではだめで、コストセンターとプロフィットセンターをうまく組み合わせ、全体として収支バランスをとっていく必要がある。
- 次世代型のまちづくりを実現していくことが求められており、まちをエリアイノベーションしていくこと自体が、イノベーション力を高めていくプロセスになればいいのではないかと。

【意見交換会の様子】



【事前アンケートの結果（資料4）】

なかもずエリアに必要な機能について（調査結果まとめ） 資料4



【NICCC事務局】

堺市 建築都市局 都市整備部
中百舌鳥・拠点整備担当
〒590-0078
堺市堺区南瓦町3番1号
高層館15階

TEL: 072-340-0389

Facebook QRコード



【なかもずエリアロゴ】

なかもずの頭文字の「n」と鳥の「百舌鳥」のくちばしの形状をモチーフにしたパーツが、複数のエリアや産学官を表現し、中央で交差するデザインはコラボレーションやコアを想起させます。風をおこすファン（扇）をイメージさせる形状は、新たな風を起こすイノベーションも表現しています。